

手をたずさえて

“富中PRIDE”～自信と誇り～

- 自ら学ぶ生徒
- 正しく行動する生徒
- 健康でたくましい生徒



平成30年7月6日(金)発行
【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

千葉さん、見事「金賞」獲得!! 全国大会審査へ NHK杯全国中学校放送コンテスト福島県大会 兼 郡山市中学校放送コンテスト 7/2(土)

7月2日(月)には郡山市立中央公民館において「NHK杯全国中学校放送コンテスト福島県大会」兼「郡山市中学校放送コンテスト」が開催されました。本校からは、アナウンス部門に1年の佐藤瀬那さん(テーマ「学級紹介」)と高德小暖さん(「放送委員会の1日」)の2名、朗読部門には3年の千葉彩乃さん(作品名「あと少し、もう少し」)が出場しました。

審査の結果、朗読部門で千葉さんが県大会、市大会ともに最高賞の「金賞」を獲得しました。千葉さんは昨年度も県大会銅賞、市大会銀賞を獲得しており、メリハリのある見事な朗読で念願の金賞受賞となりました。8月の全国大会の録音審査に駒を進めることになりました。千葉さんはその読む力を買われ、生徒会役員として受賞報告会の司会進行を毎回担当してくれています。流石です!また、アナウンス部門に出場した2名の生徒にとっても、次につながる貴重な経験になったと思います。



朗読する千葉さん



表彰式

出場した3名の生徒

今回、私は昨年と同じくNHK杯全国中学校放送コンテスト福島県大会に出場しました。昨年は銅賞だったので、今年はそれ以上の賞をとうとうという思いで練習してきました。時間はあまりありませんでしたが、できる限りの練習を重ねて本番に挑みました。私は朗読部門に出場したのですが、出番は最後から2番目。自分の出番まではたくさん時間があったので、他の学校の様々な学年の人達の朗読を聞くことができました。昨年出場していた人達はもちろん、新たに今年出場した人達も朗読に心がこもっていました。私はセリフの少ない場面を選択していたのですが、セリフの多い場面を選択していた人が多く、「私の朗読だと淡々としすぎているだろうか。上手な人も多いし…」と不安になる場面もありました。しかし、本番前に読み方を変えるのではなく、淡々としていたとしても堂々と発表しようと思えました。本番では緊張も和らいで、自分の声がマイクに乗っていくのが心地良く感じました。結果発表の時、正直金賞を頂けたことに自分でも驚きました。この賞をとれたことは、今後につなげられると思います。私は放送委員会ではありませんが、生徒会行事などで司会をするとき、もっとうまくなれたらいいなと思います。(千葉彩乃)

「郡山掃除に学ぶ会」から掃除道具をいただきました!

7月4日(水)には、5月の掃除実習でお世話になりました「郡山掃除に学ぶ会」事務局の方2名が来校され、掃除道具の贈呈を受けました。トイレ掃除に使用するスポンジ、タワシ、ナイロンタオル、バケツなど十数種類に及ぶ掃除道具を5セットもいただきました。50人分の道具だそうです。

さて、あの掃除実習の時に学んだことが今の学校や家での清掃に活かされているのでしょうか?手を抜かない本気の掃除を続けてほしいと思っています。続けていかなければ、掃除実習を実施した意味がなくなってしまう。あの実習を打ち上げ花火のような単なる一大イベントだったで終わらせてしまうのか…。今のみんなの姿勢にかかっています。贈呈されたトイレ掃除等は今後有効に活用させていただきます。郡山掃除に学ぶ会の方々の温かいご厚意に深く感謝申し上げます。



いただいた掃除道具一式



本校の伝統ある活動 “郡山支援学校との交流”

第1回全体交流会 様々な活動を通して交流を深める 6/28(木)

6月28日(木)には、本校の伝統ある活動の「郡山支援学校との交流会～第1回全体交流会」が実施されました。今回は本校の福祉委員会の生徒達が、学区内にある郡山支援学校を訪問し、支援学校の生徒達との交流活動を行いました。最初に支援学校の先生によるオリエンテーションがあり、相互の代表生徒挨拶、「ポッチャ」というボールゲームが行われました。初めは遠慮がちな生徒もいましたが、次第にうち溶け始め、いい雰囲気の中で交流がスタートしました。後半は、福祉委員の生徒達が支援学校の各学級に分かれ、それぞれの活動を行いました。はじめに自己紹介をして、その後トランプやウノ、スラローム競争、ひっぱり相撲、エキサイトボウリング、的あて、本の読み聞かせなど、多種多様な活動が展開されました。これらの様々な活動を通して、支援学校の生徒達との交流を深めることができました。

次回の交流活動は、7月13日に支援学校の生徒を本校に招き授業交流を実施します。さらに11月には授業交流の2回目、そして全体交流会の2回目も行われます。交流を重ねることで、互いを正しく理解し、相互の触れ合いを通して“すばらしい何か”を得てほしいと思います。第1回交流会を終えての思いを福祉委員会委員長の櫻澤朝斗君にまとめてもらいました。



代表生徒挨拶



ボールゲーム「ポッチャ」



各学級での交流

郡山支援学校との交流を終えて、今回の交流会は、主体性をもって活動できていない生徒が少ないように思いました。たとえ、楽しく交流ができていたとしても、どこか受け身なところがあり、自分から声をかけている生徒はあまり観られませんでした。やはり、積極的に活動することは容易なことではないと思います。なぜならば、障がいの有無に関わらず、初対面の人と仲良くなることは、誰しもが難しいことだからです。ですから、回数を重ねるごとに相手がどのような人なのかを知り、理解することができれば、主体的に活動できるようになると思います。このことから、次回の交流会では、1回目よりもより良い交流会になるよう、お互い楽しめる企画を考えていこうと思います。

※ 櫻澤君のとらえ方は流石です。委員会活動をより良いものにしていこうとする意欲が強く感じられます。

“危険がいっぱい！”

スマホ、携帯等の通信機器とのうまい付き合い方

6月30日(土)には第2回授業参観では、NTTドコモ「スマホ・ケータイ安全教室」インストラクターである永澤亜希子さんを講師とし、全校生と保護者の方々を対象に「SNS講習会」を開催しました。SNSやコミュニケーションアプリに関連した具体的なトラブルの例などから、情報公開には十分に気をつけること、知らない人を信用しすぎないこと、安易な書き込みはしないこと、ルールとマナーを守ることなど、携帯やスマホなどの通信機器を正しく使うためのポイントを学ぶことができました。

全校の半数以上の生徒が携帯やスマホを所持しているという現状の中で、講習会の内容にはとても大切なことがたくさん含まれていました。最後には情報処理部の折笠大翔部長からお礼の言葉がありました。

保護者の皆様へ

授業参観へのご参加に感謝いたします

6月30日の授業参観、SNS講習会、さらには学年懇談会へのご参加ありがとうございました。夏休みまであと2週間あまりとなり、1学期をしっかりと締めくりたいと考えております。SNS講習会を通して、我々大人も自分自身(スマホ・携帯への依存等)を見つめ直すとともに、子どもの使用状況に大人としての責任を持つことの意味を考えなければならないということを感じました。また、この日は本校の部活動等に係る活動方針と今年度から通知票がクリアファイル形式になることについて、お話をさせていただきました。



暑さに負けず真剣に聴く生徒達



講師の永澤さん



折笠君のお礼の言葉



近くの生徒との話し合い